

作品解説

平家物語

作者

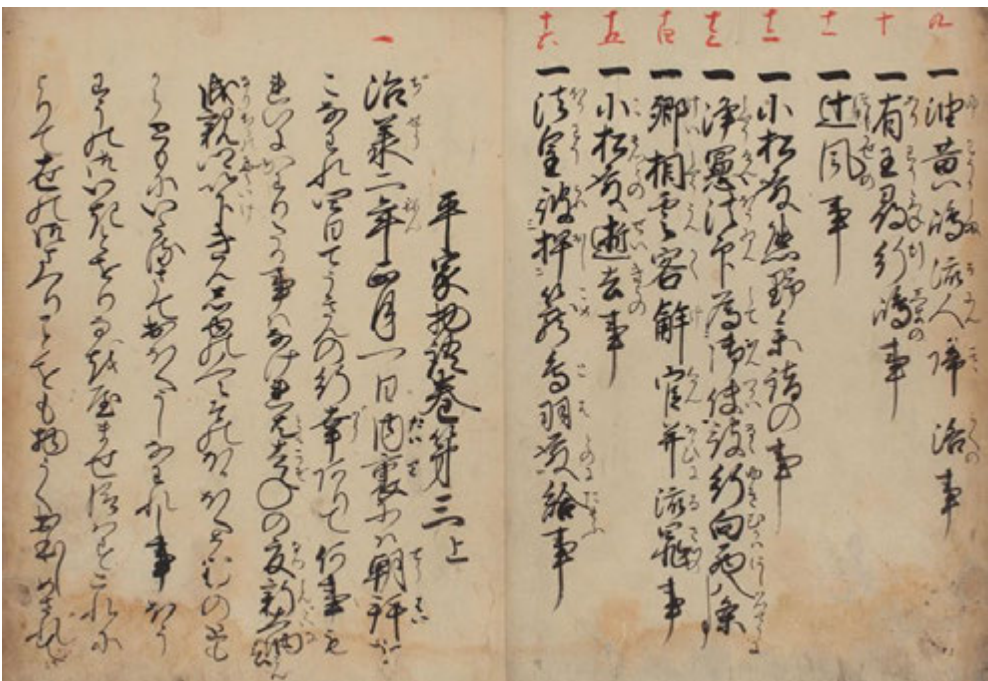
未詳。

ジャンル

軍記物語。

成立

鎌倉時代前期か。十三世紀中頃までに原形が成立していたと考えられる。多くの異本があり、「平曲」として語られた「語り本」と、読み物としての「読み本」に大別される。



『平家物語』写本
出典：日本古典籍データセット

内容

●治承・寿永の乱（いわゆる源平合戦）前後での平家一門の栄華と没落を描く。

●多くの異本があり、琵琶法師に「平曲」として語られた「語り本」と、読み物としての「読み本」に大別される。

●文体は和漢混交文。合戦場面では力強い印象を与え、悲劇的な場面では、叙情性豊かに物語を描き出す。

評価

貴族に代わって武士が時代を築いていく中世のありさまを「諸行無常」「盛者必衰」を主題に描き出しており、軍記物語の代表作として愛読されてきた。能や歌舞伎などの芸能にも多くの素材を提供した。



『屋島合戦図屏風』